

# ふるさと通信員だより

vol.206

このコーナーでは、ふるさと通信員が取材した身近な地域的话题を紹介しします。なお、町では通信員を募集しています（活動はボランティアでお願いしています）。広報活動に興味のある人は、役場広報広聴課広報係（内線216）にご連絡ください。



地域交流いきいきサロンが、乳がん患者手術後のケアのために必要な乳房パッドを手編みする活動に奮闘しています。

とかち女性ががん患者の集いプレシヤス（鈴木千鶴子代表）の依頼で、コロナ禍に負けじと、自宅でもできることから患者さんの心の支えや手作りの温もりと絆を届けたいと励んでいます。

肌に優しいコットンの糸を棒針やカギ針を使い、らせん状に編み、丸みのある三角すいの形にして、最後に綿を入れると柔らかくて軽いふわふわなパッド162個が完成。

一つ一つを袋に入れて鈴木代表に手渡し、北斗病院や帯広厚生病院など10カ所に寄贈されました。



たかだ てつこ  
高田徹子 通信員

心の支えと絆を  
届けたい



放課後子ども教室ボランティア研修会（町教育委員会主催）が行われ、15人が参加しました。

放課後子ども教室は、小学校の体育館で放課後に児童と地域住民が交流しながら安全・安心な子どもたちの居場所を作ることとを目的とした事業です。研修会では教育委員会生涯学習課の国枝さんが活動の流れや役割を説明。その後は同事業のサポートを担うNPO教育支援協会北海道の白石さんが実際に子どもたちと遊ぶ際の注意点を意識した実践的なワークショップを行いました。

安全と自由が両立できる居場所にはたくさんの大人の関わりが大切です。生涯学習課（内線775）は、随時ボランティアを募集しています。



いしだ ひろやす  
石田尚世 通信員

放課後子ども教室  
ボランティア研修会